

## 水戸市観光基本計画（第3次）素案の意見公募手続の結果について

1 意見の募集期間 平成26年12月11日から平成27年1月9日まで

2 市民等からの意見数

計 2人 24件

(1) 郵送	人	件
(2) F A X	人	件
(3) メール	人	件
(4) 直接提出	2人	24件

3 提出意見及び提出意見を考慮した結果

意見等については、適宜要約した上で項目ごとに整理し、それに対する水戸市の考え方をまとめました。

### 第2章 現況と課題 5 課題

意見等の概要	市の考え方（対応）
第2章現況と課題5課題（1）観光地としての魅力の向上に関しては、定番観光地や伝統の維持に加え、新しいものを生み出す努力と古いものの中からの掘り起こしなどの「革新」が必要ではないか。	新たな観光資源の開発や既存の観光資源の魅力の掘り起こしは、観光振興において重要であり、第4章 施策の展開 1 訪れてみたいと思える観光まちづくり（観光資源の魅力向上） 1－3 新たな観光資源の創出に位置付け、推進してまいります。

#### 第4章 施策の展開

##### 1 訪れてみたいと思える観光まちづくり（観光資源の魅力向上）

##### 1-1 既存観光資源のリノベーションによる魅力づくり

意見等の概要	市の考え方（対応）
<p>「偕楽園」,「千波湖」周辺のコンセプト設定と展開が必要ではないか。（「見せる空間」なのか「遊ぶ空間」なのか「食べる空間」なのか）。</p>	<p>「偕楽園」,「千波湖」周辺については、「見る」「遊ぶ」「食べる」など多様な体験・交流ができる空間であると考えており、魅力づくりの推進を計画に位置付け、多くの方が楽しめるよう更なる魅力向上を図ってまいります。</p>
<p>31 ページ（1）偕楽園・千波湖周辺の魅力づくりについては、弘道館と偕楽園をつなげるための①桜川での舟便運航,②千波湖でのジュンサイ栽培の復活,「乾杯条例」との関係での③「舟で一杯」の実現,④水戸八景と並んでの「千波八景」の掘り起こし,⑤サイクリング環境の整備（走行空間・景観）,⑥「義烈館」の更なる活用が必要である。</p>	<p>御提案については,（1）偕楽園・千波湖周辺の魅力づくりの推進に位置付けた具体的な事業を進める中で,十分検討させていただきます。</p>
<p>33 ページ（7）ロマンチックゾーンの魅力づくりの推進については,①内庭が素晴らしい「祇園寺」の活用,②「桂岸寺」内の中山備前守の墓所の整備,③「桂岸寺」の門前町通りの復活（ソバ屋,休み処,足湯）,④湧水めぐりのロード化が必要である。</p>	<p>御提案については,（7）ロマンチックゾーンの魅力づくりの推進に位置付けた具体的な事業を進める中で,十分検討させていただきます。なお,「祇園寺」につきましては,ロマンチックゾーンを形成する貴重な資源として計画に追記してまいります。</p>
<p>34 ページ（8）英国式庭園（七ツ洞公園）の整備に関して,食事どころ（レストラン・カフェ）の整備が必須である。</p>	<p>英国式庭園（七ツ洞公園）につきましては,ボランティア団体等との連携による「秘密の花苑」の魅力向上をはじめ,来場しやすい環境整備等を展開することにより,更なる魅力を高めていくこととしております。御提案につきましては,英国式庭園との調和や公園の利用状況,費用対効果等を踏まえながら,先進事例等を参考に研究してまいります。</p>

<p>34 ページ (10) 水戸芸術館・新たな市民会館を中心とした文化の拠点づくりに関して、特に夜の演劇や演奏の公演後は、周辺のお店が閉まっています、余韻を楽しむ雰囲気をつくれない。しゃれたレストランやカフェの整備が必須である。</p>	<p>水戸芸術館につきましては、コーヒーラウンジを設け、公演の合間や待合せ、休憩の際に軽食が取れるサービスを提供するとともに、レストランの営業を行うなど、多くの方に御利用いただいております。</p> <p>御提案の新たな市民会館へのレストラン及びカフェ機能の整備につきましては、再開発ビルにおける店舗の出店状況や中心市街地における飲食機能との連携等も踏まえ、今後の基本設計等の進捗に応じて十分に検討を進めてまいります。</p>
<p>西側地区（内原地区）の観光資源の掘り起こしが弱い。</p>	<p>西側地区の観光資源を含め、水戸の地域資源につきましては、(12) 魅力発信・交流拠点の形成として、分野別に魅力を再考するとともに、交流拠点づくりを推進することとしております。更なる観光資源の掘り起こしにつきましても、これらの施策に取り組む中で、新たな魅力の発見に努めてまいります。</p>

#### 1-2 体験・交流型観光の充実

意見等の概要	市の考え方（対応）
<p>水戸の「物産館」をどう考えていくか整理が必要ではないか。</p>	<p>水戸市においては、観光土産品の魅力向上や農産物のブランド化の推進、水戸の食資源の充実を図りながら、民間主体の販売促進に取り組んでいくこととしており、御意見をいただきました「物産館」につきましては、これらの取組を通し、観光産業の強化・育成を進めていく中で、十分検討してまいります。</p>

1-3 新たな観光資源の創出

意見等の概要	市の考え方（対応）
<p>馬場氏、江戸氏、佐竹氏、徳川家の「水戸」との関わりの整理と位置づけの考慮が必要ではないか。</p>	<p>常陸大掾（馬場）氏、江戸氏、佐竹氏につきましては、水戸徳川家とともに貴重な水戸の歴史資源であり、様々な機会を捉え、それぞれの水戸との関わりについて周知を図ってまいります。</p>
<p>「徳川ミュージアム」の位置付けと活用法の検討（「西山荘」等と一体としての考え）が必要ではないか。</p>	<p>「徳川ミュージアム」及び「西山荘」につきましては、ともに水戸徳川家ゆかりの貴重な文化財であるとともに、広くその歴史・文化を発信する魅力ある観光施設と捉えております。2-4 広域的な観光連携の推進において、広域的な周遊型観光に取り組み中で一体的な活用に努めてまいります。</p>
<p>第4章施策の展開に関しては、飲食、くつろぎ、健康、美容等をテーマとして、徹底した女性、若者、高齢者に対するアプローチが必要ではないか。歴史好きな女性や、寺社めぐり・仏像の好きな方も含めてアプローチをしてはどうか。</p>	<p>近年、観光客の嗜好は多様化していることから、ターゲットを明確にした施策を推進していくことは観光振興を図っていく上で大変効果的と捉えております。計画に位置付けた各施策を推進していく中で、御提案の歴史好きな女性や寺社めぐり・仏像の好きな方を含め、ターゲットを絞ったアプローチの手法について、先進事例を調査しながら、研究してまいります。</p>
<p>「お茶の街・水戸」のPRのため、好文亭茶会のPR、石州流や高橋箒庵（水戸市出身の実業家、茶人）の活用、古内茶（「初音茶」）を水戸黄門と結びつけてPRしてはどうか。</p>	<p>水戸のお茶につきましては、魅力ある地域資源として認識しており、御提案を十分参考にさせていただきながら、各種まつりにおける野点茶会などにおいて、PR活動とあわせ活用を進めてまいります。</p>

<p>41 ページ（2）史跡等の保存・活用に関して、①「笠原水道」の復元（当時の水道のルートが分かる形での整備, 案内板等の検討）、②新屋敷や下市の一部での旧町名の復活が必要。</p>	<p>御提案につきましては、（2）史跡等の保存・活用に位置付けた具体的な事業を進める中で、十分検討してまいります。</p>
<p>41 ページ（3）新たな観光資源の創出に関して、①「坂の街」、「橋の街」の特徴を生かした説明板の設置やサイクリング・ウォーキングルートの設定、②「潤沼」（ラムサール条約登録を目指して活動中）と「千波湖」の連携・コラボの推進、③寺社の花めぐりコースの設定（安国寺～  <small>ぎおんじ</small> 祇園寺～<small>じょうしょうじ</small> 常照寺～<small>ろくじぞうじ</small> 六地藏寺の桜めぐり等）、④水戸三十三観音めぐりの復活が必要。</p>	<p>御提案につきましては、（3）新たな観光資源の創出に位置付けた施策をはじめ、回遊できる観光地づくり及び広域的な観光連携の推進の事業を進める中で、十分検討してまいります。</p>

#### 1-5 観光産業の強化・育成

意見等の概要	市の考え方（対応）
<p>若者を地元に着させるために、産業の育成と雇用の場の創出並びにコンパクト化が必要であると考え、水戸ホーリーホックというスポーツの活用によって、若者の郷土への愛着を育むことが必要ではないか。</p>	<p>全国的に人口減少が進行する中、水戸市においては、持続可能なコンパクトな都市構造への転換をはじめ、子育て世代の定住化促進に向け、雇用の創出をはじめ、住み替え支援など様々な施策に取り組むこととしております。定住化を促進していく上では、若者の郷土愛を醸成していくことも重要であり、3-1おもてなし力の向上（2）郷土水戸に関する教育の推進に取り組むとともに、水戸ホーリーホックと連携を図りながら、意識の高揚に努めてまいります。</p>

<p>農業と農産物の販売の場を水戸駅北口等へ持ってくる。また、農業に関する学び舎の開設及び水戸駅北口に実験的に期間を定め、大学の講義場を設けてはどうか。さらに、水戸駅ビルの地下売場では、消費者ニーズ等を考えた地元農産物からなる食料の販売を中高年の販売員が行い、次世代を担う若者に、まごころを添えて販売することで、観光都市みとへの足場を築いていくのはどうか。</p> <p>また、水戸芸術館において、農家の方を招いて文化と農業の融合を図る試みをしてはどうか。</p>	<p>御提案につきましては、(3) 新たな観光資源の創出に位置付けた「新たな視点や組み合わせによる地域固有の観光資源の活用や新たな魅力の創出」を進める中で十分検討させていただきます。</p>
--	---

## 2 巡りたいと思える観光まちづくり（観光連携力の強化）

### 2-1 戦略的なイベント展開

意見等の概要	市の考え方（対応）
<p>47 ページ（2）黄門まつりの開催と魅力向上に関して、市民カーニバルは一般参加者や観客側にとって、あまり、おもしろみがない。通りの使い方も含めて各地の事例（高知よさこい、徳島阿波踊り、札幌よさこいソーラン、<sup>とやまやつお</sup> <sup>かせ</sup> <sup>ぼん</sup> 富山八尾の風の盆、秋田<sup>にしもない</sup> 県「西馬音内の盆踊」、<sup>ぐじょうはちまん</sup> 岐阜県郡上八幡の「徹夜盆踊り」等）を勉強してはどうか。</p>	<p>黄門まつりにおける市民カーニバルにつきましては、中心市街地のメイン通りを活用した市民参加型のまつりとして、毎年たくさんの方にご参加いただいております。全国各地においても様々なイベントが開催されており、それらの事例を参考にしながら、市民が楽しく参加できるイベントとして、内容の充実を図り、一層の魅力向上に努めてまいります。</p>
<p>47 ページ（3）まちなかイベントの開催と魅力向上に関しては、「コンセプト」を明確にする必要がある。単に人を集めるだけでは良くない。</p>	<p>まちなかイベントの充実はもとより、戦略的にイベントを開催していく上で、コンセプトを明確にすることは重要であると考えております。御意見いただきました、単に人を集めるだけにとどまらず、日常における集客やまち全体の魅力向上につながるよう、イベントごとにコンセプトやターゲットを整理し、明確化を図りながら、関係団体等との連携のもと、内容の充実にも努めてまいります。</p>

### 2-3 回遊できる観光地づくり

意見等の概要	市の考え方（対応）
<p>高齢者予備軍の中高年の方が、自分では外出できない高齢者を観光地・水戸に連れて行ってあげる制度を作り、実践するような意欲的な方を水戸市役所で雇用するのは難しいか？</p> <p>また、高齢者の集合住宅を北口の市役所（三の丸臨時庁舎）、図書館周辺に集中させ、そこから高齢者や中高年の方に歩いてもらえるよう工夫してはどうか。介護と観光を結び付けられる何かを探してはどうか。</p>	<p>観光地を巡ることで高齢者の外出機会の創出を図るといふ御提案は、介護予防の観点からも有効な施策の一つと考えます。</p> <p>今後、ますます高齢化が進む中で、社会情勢の変化や利用者のニーズを把握しながら、地域の実情に応じた高齢者福祉施策を推進できるよう、検討を行ってまいります。</p>

### 2-4 広域的な観光連携の推進

意見等の概要	市の考え方（対応）
<p>茨城県外から人を呼び込むには、高速道路のインターチェンジ付近に車が停まれる休憩場及び展示場を併せ持つ場が必要。</p> <p>水戸ドライブインをもう少し修復させていくことも考えてはどうか。また、展示場と、水戸の観光案内をするガイド機能を併せ持つような施設にしてはどうか。</p>	<p>高速道路等の広域交通網の活用は、広域的な観光振興を推進していく上で、大変重要であり、2-4 広域的な観光連携の推進において、北関東自動車道等の広域交通網を活用した誘客促進に努めることを基本的方向性として位置付けております。御意見をいただきましたインターチェンジ付近における「休憩場及び展示場」につきましては、関係機関や事業者等と連携を図りながら、民間主体の販売促進に取り組み、観光産業の強化・育成を進めていく中で十分検討してまいります。</p> <p>また、水戸ドライブインにつきましては、民営の施設として、水戸の土産品をはじめ、食事や新鮮農産物直売など、茨城・水戸を訪れる観光客の買物や休憩処として親しまれております。いただきました御提案につきましては、当該事業者と調整してまいります。</p>

### 3 伝えたいと思える観光まちづくり（情報発信力の強化）

#### 3-1 おもてなし力の向上

意見等の概要	市の考え方（対応）
<p>県外から人を呼び込むこと以上に、水戸に住む人が地元を観光することが大切。</p>	<p>市外・県外からの誘客を促進するには、市民自ら、地元を観て、知り、郷土水戸への愛着を育てていくことも大変重要と捉えております。計画に位置付けた小中学生における郷土教育をはじめ、市民向けのおもてなし講座の開催、市民周知PR冊子の作成などを推進しながら、市民が地元の良さを再発見し、観光したいと思えるよう、意識の醸成に努めてまいります。</p>

#### 3-2 効果的な観光情報の発信

意見等の概要	市の考え方（対応）
<p>「水戸」を「映画」の街にする仕掛け作りが必要である。具体的には、①ロケ地めぐり（七ツ洞公園、千波湖畔、水戸城跡、西部図書館、県三の丸庁舎等）の推進、②水戸出身の故<sup>ふかさくきんじ</sup>深作欣二監督・<sup>こいずみたかし</sup>小泉堯史監督の映画ポスターの展示スペース、映写スペース整備。</p>	<p>御提案いただきました映画のまちへの仕掛けづくりに向けましては、3-2効果的な観光情報の発信に位置付けた（4）フィルムコミッションの充実及び1-2の（1）体験・交流型観光の充実に位置付けた事業に取り組みながら、ロケ地のPR等に努めてまいります。映画ポスターの展示につきましても、合わせて調査・研究を進めてまいります。</p>
<p>「水戸駅」の活用が必要（駅コンコースに<sup>おざわせいじ</sup>小澤征爾氏指揮の水戸室内管弦楽団のメロディーを流す等）。</p>	<p>水戸駅は訪問者をお迎えする玄関口であり、観光振興を推進していく上で、水戸市の顔というべき重要な交流拠点であるとともに交通結束拠点と認識しており、これまでも、水戸黄門まつりやゆるキャラグランプリのPR等、様々な機会を捉えて活用してきたところであり、引き続き、東日本旅客鉄道株式会社と連携しながら、活用を進めてまいります。</p>



## 第6章 推進体制と進行管理

意見等の概要	市の考え方（対応）
観光基本計画の検討や計画内容の具現化にあたっては、都市計画法による美観地区規制、道路法による規制や道路審議会による道路整備計画、「高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に関する法律」の趣旨等に則り、検討していく必要がある。	計画の推進に当たりましては、関係法令の趣旨を鑑みながら、関係団体・機関等と十分調整を行ってまいります。

### 【参考】

#### 意見公募手続の結果に伴う水戸市観光基本計画（第3次）（素案）の修正箇所

該当箇所	修正前	修正後
素案33ページ（7）ロマンチックゾーンの魅力づくりの推進 2行目	…桂岸寺，水戸八幡宮，常磐共有墓地，回天神社，さらに愛宕山古墳…	…桂岸寺，水戸八幡宮， <u>祇園寺</u> ，常磐共有墓地，回天神社，さらに愛宕山古墳…